



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月28日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
 コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,312	△12.3	877	△60.8	596	△67.1	439	△70.6
2020年3月期第3四半期	17,468	0.2	2,240	0.8	1,809	△2.6	1,494	△1.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 507百万円 (△67.0%) 2020年3月期第3四半期 1,535百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.64	—
2020年3月期第3四半期	185.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	91,273	19,944	21.9
2020年3月期	92,800	19,441	20.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,944百万円 2020年3月期 19,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,348	△10.6	508	△75.6	20	△98.7	△97	—	△12.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,061,566株	2020年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	23,485株	2020年3月期	24,556株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,037,809株	2020年3月期3Q	8,038,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動が再開され一時的に回復の兆しがみられましたが、感染症の再拡大による影響が懸念される等、厳しい状況で推移しました。

この間当社グループにおいては、各部門において新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら増収やコストの削減に努めたものの、外出自粛等に伴う鉄道・バス・タクシーの利用者の大幅な減少や、運輸業以外の事業においても営業時間の短縮や臨時休業を実施したこと等により、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は15,312百万円（前年同期比12.3%減）となり、営業利益は877百万円（前年同期比60.8%減）、経常利益は596百万円（前年同期比67.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は439百万円（前年同期比70.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化、法面の補強等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、大池駅において下りホームに改札口及び多機能トイレを新設するバリアフリー化工事を進めております。

コロナ禍における列車の運行については、係員のマスク着用や、車内換気、車両・駅施設の抗菌・抗ウイルスコーティングの実施等、感染予防策を実施したうえで通常運行を継続しました。

営業活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、各種イベントの開催休止等を余儀なくされるとともに、外出自粛等に伴い利用者は大幅に減少しました。このような状況のなか、毎年ご好評をいただいている「神鉄おもてなしきっぷ」を10月より発売したほか、上方落語の定席「神戸新開地・喜楽館」と連携した「神戸電鉄×喜楽館 笑い放題切符」を12月に発売し、旅客誘致に努めました。また、2020年6月1日の北神急行電鉄北神線の市営化に伴い、神戸市営地下鉄北神線の運行等の業務を受託するとともに、2020年11月に神戸市と当社沿線のリノベーションに関する連携協定を締結しました。引き続き、駅を中心としたまちづくりが推進されることにより人口定着や鉄道の利用促進が図られるよう、沿線自治体と連携した取組を進めてまいります。

なお、バス事業及びタクシー業においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者は大幅に減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は8,132百万円（前年同期比18.2%減）となり、営業損失は157百万円（前年同期は営業利益1,340百万円）となりました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、新たに月極駐車場を開設するなど、収益の拡大を図りました。

また、神戸市他から「神戸市ものづくり工場(神戸市兵庫区)」等の施設の管理を受託し、円滑な運営に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,449百万円（前年同期比5.2%減）となり、営業利益は前年同期並みの726百万円となりました。

流 通 業

食品スーパー業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、「食のインフラ」として、地域のお客様への食料品の安定的な供給に努めました。

コンビニ業においては、新型コロナウイルス感染症による鉄道旅客減少の影響を受ける厳しい状況のなか、各店舗で増収に努めました。

飲食業においては、コロナ禍での持ち帰り需要が増加するなど順調に推移しました。

なお、売上の低迷が続く「セブン-イレブン神鉄湊川駅店(神戸市兵庫区)」については2020年12月に閉店しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の流通業の営業収益は4,686百万円（前年同期比1.1%増）となり、営業利益は67百万円（前年同期比148.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,527百万円減少の91,273百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2,030百万円増加の71,328百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ503百万円増加の19,944百万円となり、自己資本比率は21.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月28日発表の業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177	1,396
受取手形及び売掛金	873	797
短期貸付金	70	63
販売土地及び建物	363	363
商品	117	115
貯蔵品	430	503
その他	2,126	1,321
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,157	4,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,137	42,172
機械装置及び運搬具(純額)	5,997	5,624
土地	34,695	34,692
建設仮勘定	455	963
その他(純額)	409	371
有形固定資産合計	84,696	83,824
無形固定資産		
その他	625	566
無形固定資産合計	625	566
投資その他の資産		
投資有価証券	957	923
長期貸付金	480	433
繰延税金資産	65	—
退職給付に係る資産	455	598
その他	379	383
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,320	2,321
固定資産合計	87,642	86,713
資産合計	92,800	91,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,241	1,162
短期借入金	25,884	24,266
未払法人税等	155	50
前受金	515	974
賞与引当金	49	18
ポイント引当金	11	10
その他	2,712	2,885
流動負債合計	32,570	29,368
固定負債		
長期借入金	34,741	35,773
繰延税金負債	—	35
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	110
長期末払金	571	745
長期預り保証金	932	932
その他	962	889
固定負債合計	40,788	41,960
負債合計	73,358	71,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,314	6,754
自己株式	△79	△84
株主資本合計	17,945	18,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	155
繰延ヘッジ損益	2	1
土地再評価差額金	1,500	1,500
退職給付に係る調整累計額	△105	△93
その他の包括利益累計額合計	1,496	1,564
純資産合計	19,441	19,944
負債純資産合計	92,800	91,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	17,468	15,312
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	13,247	12,513
販売費及び一般管理費	1,980	1,921
営業費合計	15,227	14,434
営業利益	2,240	877
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	23
雇用調整助成金	—	128
雑収入	55	151
営業外収益合計	80	303
営業外費用		
支払利息	492	463
雑支出	18	121
営業外費用合計	511	584
経常利益	1,809	596
特別利益		
工事負担金等受入額	87	401
特別利益合計	87	401
特別損失		
工事負担金等圧縮額	87	401
その他	6	9
特別損失合計	94	410
税金等調整前四半期純利益	1,803	587
法人税、住民税及び事業税	209	66
法人税等調整額	98	81
法人税等合計	308	147
四半期純利益	1,494	439
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,494	439

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,494	439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	56
繰延ヘッジ損益	1	△0
退職給付に係る調整額	9	12
その他の包括利益合計	41	68
四半期包括利益	1,535	507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,535	507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,921	1,346	4,626	15,894	1,573	17,468	—	17,468
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	18	183	6	208	643	852	(852)	—
計	9,940	1,529	4,633	16,103	2,217	18,320	(852)	17,468
セグメント利益	1,340	726	27	2,094	170	2,264	(23)	2,240

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△23百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	8,116	1,264	4,679	14,060	1,251	15,312	—	15,312
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	15	185	6	207	672	880	(880)	—
計	8,132	1,449	4,686	14,267	1,924	16,192	(880)	15,312
セグメント利益又は損失(△)	△157	726	67	636	279	915	(37)	877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△37百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	10,604	15,421	△31.2
	定期	24,933	29,519	△15.5
	計	35,537	44,941	△20.9
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定期外	2,464	3,633	△32.2
	定期	2,878	3,455	△16.7
	計	5,342	7,089	△24.6

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。